

## 神の救いの恵み

私たちには、必ず「死」がやってまいります。『永遠の生命を得』とはどういうことでしょうか？ 罪人である者は、肉体的な死を迎えるだけではなく、

「永遠の死」と呼ばれる刑罰に入らなければなりません。しかしイエス様の救いを受けるならば、永遠に神様とともに住むことができる者として、永遠の幸福が保証されます。この永遠の生命は、罪の赦しゆるとともに、イエス様からいただく神様のプレゼントなのです。『神の賜物たまものは、我らわれの主キリスト・イエスにありて受くる永遠の生命なり』(ロマ六・23)

エホバの証人、モルモン教、統一協会などのご相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。

# 「神の愛と救い」

『それ神は、その獨子ひとりご(イエス・キリスト様)を賜たまふほどに、世を愛し給たまへり。すべて彼を信ずる者の亡なびずして、永遠の生命を得んためなり。』(ヨハネ三・16)

これは聖書の中心メッセージと呼ばれるみことばです。この中に示されている、聖書の三つの重要ポイントを見てみましょう。

## 神の愛

『それ神は、』 まず天地を造り、私たちを生かしてくださる、創造主なる御方を神様と呼びます。この世の中にいろいろな神々がありますが、全知全能の創造主以外のものはすべて、人間の創作によるものであります。この真の神様は、被造物をととても愛しておられる御方です。

『獨子ひとりごを賜ふほどに、世を愛し給へり。』愛の大きさを測るとすれば、犠牲の大きさでしょう。イエス様は『人、その友のために己の生命いのちを棄すつる、これより大なる愛はなし』(ヨハネ五・13)とおっしゃいました。そして天からこの世に來られた上に、罪人の身代わりとなつて十字架にかかり、命を与えてくださいました。神様はそれほどまで、私たちを愛してくださっているのです。

## 罪に対する神の正しい裁き

私たち人間は生まれながら「罪の性質」を持っていて、教えられなくても親に逆らい、人とぶつかり、自分中心の生き方を選んでいる者です。聖なる正しい神様の前に、『義人なし、一人だに無し』(ロマ三・10)と記されているように、残念ながら、すべての人間は「罪人」と呼ばれる存在であります。正しい神様は、罪惡を見逃すわけにはいきませんから、必ず裁きをなさいます。罪人にとってこれほど恐ろしいものはありません。罪があつて裁かれるのですから、その刑罰も必ずあるということになるからです。この刑罰から逃れるためには、原因である“罪”を解決しなければなりません。これこそ人生の大切な宿題ですが、人間が自分の力や努力では、絶対に解決できない問題でもあります。

『彼(イエス様)を信ずる者は亡ほろびず』と記されていますので、罪人の希望はこのイエス様にあります。イエス様を信じる者は、裁きと刑罰に入らなくても良いのです。